

「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録に当たっての 内閣総理大臣メッセージ

「飛鳥・藤原の宮都」が、我が国27件目の世界遺産として登録されたことを心から嬉しく思います。

飛鳥宮跡・藤原宮跡をはじめとする19の構成資産から成る「飛鳥・藤原の宮都」は、6世紀から8世紀に日本列島において生まれ、後代にも大きな文化的影響を与えた古代国家の宮都の考古学的遺跡群です。東アジアの古代国家の形成期において、中央集権体制が誕生・成立した過程を、二つの宮都の変遷を通じて具体的に示す文化遺産として、その顕著な普遍的価値が認められました。

この度の登録は、多くの皆様が待ち望んでこられた大変喜ばしい知らせであると存じます。長年にわたり文化遺産の保護と継承に尽力してこられた奈良県の地元の皆様をはじめとする関係者の方々に、心からのお祝いと深い敬意を表します。

日本の宝から世界の宝となったこの貴重な文化遺産を確実に守り、次世代へ着実に引き継いでいく、その決意を新たにいたしました。

是非、国内外の多くの方々に現地を訪れていただき、「飛鳥・藤原の宮都」の価値と魅力に触れていただけることを期待しています。

令和8年7月26日
内閣総理大臣 高市 早苗